

2020年度 小委員会活動成果報告

(2021年2月1日作成)

小委員会名	鉄筋コンクリート組積造設計・計算規準検討小委員会	主 査 名：西田哲也 就任年月：2017年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (壁式構造運営委員会)	委員長名：塩原 等 主 査 名：稲井栄一
設 置 期 間	2017年4月 ～ 2021年3月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>これまで、壁式構造運営委員会では、「鉄筋コンクリート組積造構造設計・計算規準原案検討WG」および「鉄筋コンクリート組積造構造設計・計算規準原案作成WG」を設置し、新しい規準の原案を作成してきた。本小委員会では、WGでの活動成果を基に、試設計を実施してさらに規準案の問題点を洗い出して検討し、それらの修正を加えて新しい「鉄筋コンクリート組積造構造設計・計算規準」を刊行することを目的とする。</p> <p>初年度：設計例の建物選定、試設計実施 2年度：試設計を基に規準本文および解説の修正、設計例の確定、規準全体の原稿作成 3年度：小委員会、壁式構造運営委員会、構造本委員会の査読、最終原稿完成 4年度：最終原稿入稿、規準出版、講習会の実施、講習会の結果を踏まえた今後の本規準のあり方と改定方針の検討</p>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	主査：西田哲也(秋田県立大学) 幹事：楠浩一(東京大学)、黒木正幸(大分大学) 委員：稲井栄一(山口大学)、井上芳生(INO建築構造研究室)、岡部喜裕(力体工房)、高橋和雄(太陽エコブロック)、勅使川原正臣(名古屋大学)、時田伸二(UR都市再生機構)、西野広滋(トーホー)、向井智久(建築研究所)、尾崎純二(萩森興産)	
設置WG (WG名：目的)	鉄筋コンクリート組積造設計・計算規準検討WG ：試設計案の作成で明らかとなった規準本文および解説の要修正事項の検討 鉄筋コンクリート組積造試設計WG ：設計例とする建物の選定と試設計案の作成および規準本文・解説の要検討事項の洗い出し	
2020年度予算	130,000円	ホームページ公開の有無：無 委員会HPアドレス：

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	2回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. 鉄筋コンクリート組積造(RM造)建物の構造設計・計算規準(案)・同解説
講習会	1. 鉄筋コンクリート組積造(RM造)建物の構造設計・計算規準 参加者数 78名
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	2020年度大会(関東)諸行事は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 規準の出版、講習会の実施とも、目標を達成することができた。
委員会活動の問題点・課題	1. 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で活動に遅れが出たため、規準出版、講習会実施はできたが、講習会の結果を踏まえた検討は十分にできなかった。